

中学生による新旭市の まちづくり計画がスタート

「自分たちの思いや願いを『旭市総合計画』に反映させ、日本一住みよい旭市にしよう!」と市内5中学校1年生全員が、旭市のまちづくりに取り組み始めました。

2月21日、全生徒が東総文化会館に集まりガイダンスに参加。伊藤市長は市の現状を説明し、「新しいまちづくりの提案」をお願いしました。生徒たちからはさまざまな質問が飛び出し、市長の考えに耳を傾けていました。また、この取り組みに協力してくださる上杉賢士先生（千葉大学教授）からは、自分で好きなことをとことん学び本物の力を身につけるプロジェクト・ベース学習の説明があり、取り組み方について学びました。

これから生徒たちは、「総合的な学習」の一環として、郷土の文化、歴史、産業などの資料収集や調査研究を行い、研究の成果を7月に発表する予定です。



▲市長と意見交換する中学生



▲まちづくりについて話す伊藤市長

東総工高で PTAのお父さん方が仕事について講話

身近な人が話してくれることで、生徒たちに、身近に仕事について考えてもらおうと東総工高で2月16日、「社会人講師の講話と技術の披露等」と題した授業がPTAの協力で開催されました。受講したのは、これから進路を選択する東総工2年生全員。産業現場で活躍する同校OBやPTAの皆さんから、夢に向かって努力することの大切さや、技術者は資格を取っておいた方がいいなど、進路選択に役立つ話しに、みんな熱心に耳を傾けていました。



みんなで考える地域の未来 海匝地区タウンミーティングを開催



▲会場での熱心な意見交換

県が策定を進めている新しい高齢者保健福祉計画に向けて、より多くの県民から幅広く意見を聴こうと、「海匝地区タウンミーティング」が2月22日に、東総文化会館で開かれました。参加者からは、高齢者の介護を中心としたさまざまな意見が出され、子どもからお年寄り、障害者などが地域で助け合いながら暮らせるようにと、活発な意見交換が行われました。

郷土の先覚者を追悼 大原幽学墓前祭

世界初の農業協同組合「先祖株組合」をつくったといわれる、大原幽学（1797～1858）の慰霊と顕彰のため、墓前祭が2月25日に行われました。墓前祭は、62歳で自決した墓所（長部）にある墓標の前で毎年行われています。



▲墓前に花を捧げる参列者

長田百合子さんの講演会 旭青年会議所が開催



▲熱心に耳を傾ける参加者



青少年の育成、家族、親子の関係について、考えてみようという「長田百合子さんの講演会」を旭青年会議所が2月25日、東総文化会館で開催しました。長田百合子さんは、学習塾を経営する一方、問題を抱える子どもとその親を指導し、現在まで1,000人以上の問題を解決してきた現場主義の教育者で、テレビに出演したり、著書を多数執筆している方。見てきたこと、感じたことをストレートに話す長田さんの、他を圧倒する迫力に、300人を超える聴衆は引き込まれていました。

二中の生徒3人が 陸上全国大会に出場

全国大会の参加標準記録を突破した選手だけが出場できる「2006日本ジュニア室内陸上競技大会大阪大会」が2月11日、大阪府の大阪城ホールで開かれ、二中陸上部の川口千明さん（3年）、江ヶ崎友さん（2年）、伊藤愛さん（2年）の3人が出場しました。



▲左から伊藤愛さん、川口千明さん、江ヶ崎友さん

川口さん、江ヶ崎さんは中学女子60m予選に出場。健闘しましたが、惜しくも決勝進出を逃しました。また、伊藤さんは中学女子800mに出場しましたが記録が伸びず、入賞には届きませんでした。しかし、全国大会出場という貴重な体験をしたことで、今後ますますの活躍が期待されます。

川口さん、江ヶ崎さんは中学女子60m予選に出場。健闘しましたが、惜しくも決勝進出を逃しました。また、伊藤さんは中学女子800mに出場しましたが記録が伸びず、入賞には届きませんでした。しかし、全国大会出場という貴重な体験をしたことで、今後ますますの活躍が期待されます。

海上保育所でひな祭り

桃の節句の3月3日、海上保育所では、ひな祭り子どもたちを子どもたちみんなでお祝いしました。会場の遊戯室には手作りのひな人形が飾られ、子どもたちは、元気な声でひな祭りの歌を仲よく歌ったり、おひなさまの映画を見たりして楽しみました。また、先生から素敵なハンドベルの演奏のプレゼントもあり、思い出に残るひな祭りになりました。

真っ赤な夕陽ときらめく夜景 刑部岬で夕陽・夜景鑑賞会

刑部岬にある上永井公園を会場に、2月25日、夕陽・夜景鑑賞会が開かれました。ここからは、九十九里浜に沈む夕陽と地元旭市の夜景が堪能でき、さらに気象条件がよければ、約190km離れた富士山の姿を見ることができます。当日は残念ながら、富士山は見えませんでした。美しい景色を一目見ようとたくさんの人が訪れました。



▲美しい瞬間をカメラや携帯電話で撮影

歯のポスターコンクールで 遠藤知里さん（一中・3年）が全国最優秀賞



歯や口の健康を分かりやすく伝えるための「平成17年度歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール」で、一中の遠藤知里さん（平成17年度3年生）のポスターが最優秀作品に選ばれました。遠藤さんの作品は、千葉県歯科医師会が発行するリーフレットなどに採用されています。



▲仲良く歌う子どもたち